

『一步一步進もう』

~Let's Move Forward Step by Step~
東京六本木ロータリークラブ会長

TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

WEEKLY REPORT

東京六本木ロータリークラブ



『ロータリーは分かちあいの心』

～Rotary Shares～
国際ロータリークラブ会長

発行日 2008年5月12日

No. 33

平成20年4月21日

卓話 『饗宴外交の舞台裏』

毎日新聞外信部専門編集委員

西川 恵様

西川でございます。今日はお呼びいただきありがとうございます。ワインと料理、儀典から外交を読み解くということですが、儀典の話はニュースにならないんですね。宮中晚餐会があったという1行で終わってしまう。しかし僕はそこに政治を読み解く鍵があると思います。きっかけはパリ特派員のときにエリゼー宮のもてなしを見て、そのときどきで出されるワインが違うことでした。

フランスワインは格付けされていますから歴然と分かるわけです。取材を始めて、そこに政治の意思、冷徹な計算が入っているのが分かりました。今日は英国のエリザベス女王のもてなしを取り上げます。つい最近のサルコジ・フランス大統領、03年のブッシュ大統領、05年の胡錦濤中国国家主席、いずれも国賓として英国を訪れました。まず胡錦濤主席のメニュー。料理は舌平目、子羊、サラダ、デザート。飲み物がシャサーニュ・モンラッシュとシャトー・ピション・ロングウィルなど。ワインに詳しい方はお分かりのように2つとも2番手のワインです。2番目がブッシュ大統領。03年春のイラク戦争に英国はアメリカの最大の同盟国として参加し、ブッシュ大統領はその半年後に国賓として訪問しました。おそらく両国はイラク戦争で共に戦ったことをたたえ合うセレモニーが必要だったんだと思うんです。このときのワインも2番手のものです。サルコジ大統領のときは例外で、ボルドー最高のシャトー・マルゴーとシャンパンはクリュグ。これは生産量が少なく実に手間隙を掛けていて値段もダントツ。しかもマグナムという希少なもの。公式の晚餐会のときは150人あります。シャトー・マルゴーとクリュグを50本そろえると値段も相当なものだと思います。エリザベス女王がこのワインにした理由の一つは英王室とフランスとの歴史的な太い関係。フランスもエリゼー宮で最高レベルのもてなしをする人はエリザベス女王なんです。僕はエリゼー宮の執事長にフランスは英国と国際政治の場でいつもけん

かしているのに、なぜ高いもてなしをするのか聞いたことがあるんです。そしたらこういう返事がありました。英王室は常に英仏関係のバックボーンであった。一次、二次の世界大戦で英国がフランスを支援した背景には英王室がフランスを支援するという意思で国民をまとめていた事実がある。それをフランスは忘れないんだということで、目を見開かされた思いがしました。事ほど左様に、エリザベス女王を迎えるときは手厚くするのが伝統で、これは英国がフランスに対するときも同じです。もう一つはサルコジ大統領の新しい英仏関係を構築したいという政治的姿勢。またEUの中で英仏関係の強化を進めている点。イギリスもそういうフランスと組んでEUでの存在感を高めるという共通の認識があると思うんです。政治に敏感なエリザベス女王ですから、当然こうした雰囲気も心得てメニューを決めていると思います。

エリザベス女王は本当に面白いスピーチをする人で、以前フランスに行ったとき、「英國のプログラマティズムとフランスの情熱、フランスの構想力と英國のユーモア、英國の雨とフランスの太陽。この補完関係を喜ぼうではありませんか。両国の違いに万歳」と演説しました。こういうスピーチは新聞にはほとんど載らないけど、これも一つのプロトコルだと思います。練りに練り上げたスピーチは、もっと報道されるべきです。政治の場では角を突き合わしても、現実の付合いの場では互いに神経を使い手厚くもてなす。この二つがドッキングして初めて、その外交関係が分かるのだと思います。外交を分析する一つの手法としてご紹介しました。





■ニコニコBOX情報

竹内 和弘さん

上海より帰りアレルギー性の気管支炎一はじめて会社を休みましたー元気になりました。

水島 裕さん

来週は結婚記念日です。来年金婚式で、それまではもつと思います。

森 佳子さん

百花繚乱の美しい季節になりました。西川先生、今日の卓話を楽しみにしております。

岡田 達雄さん

明日の京都西南RC訪問を楽しみにしています。

安間 百合子さん

西川さま、本日はありがとうございます。

苅田 吉夫さん

京都親睦旅行が間近となりました。ゴールデンウィークもすぐそこです。何となく心のはずむ時期ですね。

門田 真乍子さん

シャルティダンス同好会の例会・練習会を、40名のお客様をお迎えして今日、開催いたします。皆様の心の応援をたくさんいただいています。

渡邊 滋さん

春ですねえ、世はすべて事もなしといいたいところなんですが。

「春の夜や 小暗き風呂に沈み居る」

芥川龍之介

安井 悅子さん

明日、京都西南RCに行って参ります。飄亭のお食事と、京都御所の参観も楽しみです。小学校の遠足の前日を思い出します。

浅田 豊久さん

5週間ぶりの傘なしの月曜日です。

山本 良樹さん

新入社員が配属されました。私にもそんな時がありました。

4月21日 合計 44,000円
累計 3,125,500円

■ 本日のプログラム

平成20年5月12日

卓話『イメージコンサルティングの手法と現状』

カラー&イメージアップコンサルタント

田中 晓子 様

プロフィール

東京都新宿区出身。

早稲田大学第一文学部史学科国史専修卒業。

東京国際見本市協会コンパニオン・同養成インストラクター・CM・DJ・ナレーター・司会・大手企業社員教育講師等を経て、1986年“Always In style”カラーアナリスト免許取得。(ドリス・ブーザー女史に師事)。1987年“Image Up”イメージコンサルタント免許取得。(ミッキー中安女史に師事)。1987年より各種カルチャーセンター講師、全国商工会議所・商工会講師、埼玉県頭脳バンク登録講師となる。

現在、パーソナルカラー・イメージアップと社員教育・接客・接遇・コミュニケーション等、多彩な講演、講座、研修・執筆活動を大手企業・各種団体を中心として全国的に展開中。また、イメージコンサルタントの草分けの一人として、パーソナルカラーの普及・大衆化、高齢者のおしゃれや幅広い分野のネットワークづくりに力を注いでいる。

スタジオ暁(AKI) 代表

■ 次回のプログラム

平成20年5月19日

卓話『日本のお陰で…』

ファッショニ・エッセイスト

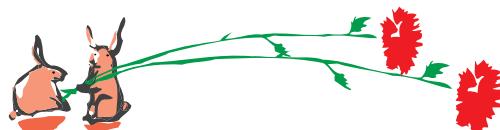
フランソワーズ・モレシャン 様

クラブからのお知らせ

4月21日例会より

- 幹事

- 6月2日(月)、一般会員のためのロータリー研究会が開催されます。
(会場:国際オリンピック記念青少年センター
10時~17時)



東京六本木ロータリークラブ

会長 苅田 吉夫 幹事 岡田 達雄

会報・広報
委員長

安井 悅子

会報・広報
副委員長 片岡 雅敦